

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 16 年 7 月 15 日 (2004.7.15)

【公開番号】特開 2000-215756 (P2000-215756A)

【公開日】平成 12 年 8 月 4 日 (2000.8.4)

【出願番号】特願 平 11-17108

【国際特許分類第 7 版】

H 0 1 H 17/08

【F I】

H 0 1 H 17/08 A

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 6 月 25 日 (2003.6.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 3】

駆動ハンドルとの間で引き紐を挾持すると共に、駆動ハンドルが復帰位置に戻るよう
に駆動ハンドルに復帰力を与える復帰ばねを設けたことを特徴とする請求項 1 記載のスイッチ
。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

請求項 3 の発明では、請求項 1 の発明において、駆動ハンドルとの間で引き紐を挾持する
と共に、駆動ハンドルが復帰位置に戻るよう
に駆動ハンドルに復帰力を与える復帰ばねを
設けたことを特徴とし、引き紐は駆動ハンドルと復帰ばねとの間に挾持されているので、
引き紐が外れるのを防止することができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 4】

請求項 3 の発明は、請求項 1 の発明において、駆動ハンドルとの間で引き紐を挾持する
と共に、駆動ハンドルが復帰位置に戻るよう
に駆動ハンドルに復帰力を与える復帰ばねを
設けたことを特徴とし、引き紐は駆動ハンドルと復帰ばねとの間に挾持されているので、引
き紐が外れるのを防止できるという効果がある。